

世界臨床検査通信シリーズ-34 臨床検査に関する団体の活動

世界病理臨床検査医学会連合会議(World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine: WASPaLM)

群馬大学大学院医学系研究科臨床検査医学 村上正巳

第2次大戦後間もない1947年9月にパリでフランス、英国、チェコスロバキア、ベルギーの4ヶ国の臨床病理学会によって構成された国際臨床病理学会が設立され、WASPALMの歴史が始まった。WASPALMは、WHO、ISO、IFCCやASCPaLMなどの国際団体と連携して、病理学ならびに臨床検査医学の質の向上、研究ならびに教育に関する国際交流の推進に取り組んでいる。現在のWASPALMは、Western Pacific、South-East Asia、Eastern Mediterranean、Africa、Europe、North America、South Americaの世界7地域から構成されており、35ヶ国の40の学会、協会、連合がWASPALMに加盟している。わが国はこれまでWASPALMの運営に深く関わっており、第14代 president を河合忠先生、第19代 president を森三樹雄先生が務められ、第26代 president を私が務めさせていただいた。

第1回のWASPALM World Congressは1951年にロンドンで開催され、その後2年おきに世界各国の都市で会議が開催されてきた。アジアで最初のWorld Congressは、小酒井望先生が会長、河合忠先生が事務局長として1983年に第12回の会議が常陸宮殿下のご臨席を賜り東京で開催されたものである。わが国で34年ぶり、2回目の会議は、2017年11月に京都で開催された第29回World Congressであり、私が会長を務めさせていただいた。「次世代の医療の進歩への貢献」“Contribution to Medical Innovation for the Next Generation”をメインテーマとして、国立京都国際会館において第64回日本臨床検査医学会学術集会と同時に開催された。開会式には、三笠宮彬子女王殿下にご臨席賜り、お言葉を頂戴し、検査機器の展示会場をご視察いただいた。教育講演、シンポジウム、共催セミナーや一般演題において多くの発表が行われ、海外30ヶ国から出席していただくことができた。

京都における第29回World Congressにおいて、WASPALMの第27代 president にイタリアのDr. Roberto Vernaが就任した。WASPALM flagを中国のDr. Shang Hongに引き継ぎ、第30回World Congressは2019年9月19日～21日に西安で開催される予定となった。

私とWASPALMの関りは、2005年にイスタンブールで開催された第23回World Congressに河合忠先生、森三樹雄先生、櫻林郁之介先生、神田進氏にご指導をいただき東京事務局のExecutive Directorとして出席したことに始まった。WASPALMがこれまで順調に発展して来られたのは、20社を超える検査機器・試薬に係るわが国のCorporate Sponsorsの変わらぬご支援によるものである。改めて深く感謝申し上げる次第である。